
助けて

karinko

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
助けて

【コード】
N5817H

【作者名】
karinko

【あらすじ】
壊れてしまった彼女がしきりに言うんだ。オレに、助けてと。

(前書き)

よくわからない話なので、あとがきで解説しています。
一応目を通してみてください。

オレの彼女。

みなみえりか
南恵利香。

1年前、恵利香は両親に捨てられた。

多分相当ショックだったと思う。

だって幼なじみのオレからみても、恵利香の家族はすごく仲がよさそうに見えたから。

けど、恵利香は捨てられた。

1人、家におきざりにされて。

別に、家が貧しかったわけでもないのに。

別に、恵利香が悪いことをしたわけでもないのに。

恵利香は捨てられたんだ。

でも、

そのときはオレじゃない、別の男が恵利香のそばにいた。

恵利香とそいつは他人のオレから見てもわかるくらい、すっげえラブラブで…

両親がいなくなっただけから、そいつがそばにいたから、恵利香が壊れることはなかった。

ひそかに恵利香のことを好いていたオレは悔しいと思いつつも安心してたんだ。

それなのに…

それなのに、あいつは…

恵利香を捨てた。

もともと二股をかけてたらしい。

で、恵利香がうざくなってきた、とかそんな意味不明な理由で恵利香を捨てたんだ。

その日から、恵利香はオレの彼女になった。

けど、恵利香はもう、以前の明るい少女じゃない。

恵利香は壊れていた。

いつも、オレにすがりつきながら、恵利香はしきり言うんだ。

『ねえ…裕也…もっと私を愛して???』

愛されていたようで、結局誰にも愛されていなかった恵利香。

恵利香の『愛して』は、オレに『助けて』と言っているようだった。

そんな恵利香をぎゅっと抱きしめる。

オレは恵利香のことがずっと好きだった。

オレなら恵利香を捨てたりはしない。

オレなら恵利香を守ることができる。

誰にも愛されることがなく、かわいそうな恵利香。

オレが変わりに愛してあげる。

だから…

もっともっと、オレにすがってきてよ。

恵利香。

(後書き)

ポルノグラフィティの『ネオメロドラマティック』の歌詞の一部を
少しだけ使わせていただきました。

この小説の題名は『助けて』ですが…

『助けて』と言ってるのは実は裕也の方なんです。

実は、『誰にも愛されていない』のは裕也なんです。

裕也は恵利香のことがずっと好きだった 恵利香は裕也に愛されて
いた。

つてなるじゃないですか！

それに対して、裕也は恵利香に愛されてはいません。

恵利香は裕也を利用してはいるだけです。

だから、結局助けを求めているのは裕也の方なんですよ。(意味不明
ですね；

あとがきながくてすみませんでした > m (— (m <

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5817h/>

助けて

2010年12月14日19時33分発行